

実地研修

[実習] 第4学年 通年 選択 0.5単位

《担当者名》鈴木 真人 s-masato@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

胃瘻又は腸瘻による経管栄養を実地研修指導講師の下、実地研修協力者の協力の基に、安全、安楽かつ効果的に手順に沿って実施できるよう研修をおこなう。

【学修目標】

1. 胃瘻又は腸瘻による経管栄養を実地研修指導講師の下、実地研修協力者の協力の基に、以下の手順を20回以上、安全に実施することができる。
 - 1) 実施準備(指示の確認、手洗い、必要物品の準備、栄養剤の確認・準備)
 - 2) ケアの実施(説明、栄養剤と研修協力者の確認、環境整備・姿勢保持、栄養点滴チューブの接続、経管栄養の実施、注入の終了、注入後の観察、注入後の姿勢保持)
 - 3) 報告(実施後の報告、ヒヤリハット・アクシデントの報告)
 - 4) 片づけ
 - 5) 記録
2. 医師・看護職との連携体制について確認、実施することができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	胃瘻または腸瘻による経管栄養	実地研修指導講師の下、研修協力者の協力の基に、胃瘻又は腸瘻による経管栄養を安全に実施できる。 要件として ・実施すべて手順通りに20回以上実施できる。 ・実地研修指導講師による評価を受け、20回以上クリアする。 研修にあたっては、研修協力者の基本情報等を確認するなど協力者を理解すること。 経管栄養の実施にあたっては、個別の留意点などを指導講師に確認しながら、安全に実施すること。 医師・看護職との連携体制の確認とともに連携することができる。	鈴木

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

実地研修評価判定基準に則った評価であり、「1人で実施できる」と評価された場合で、以下を満たす場合に修了となる。

当該ケアにおいて最終的な累積成功率が70%以上であること。

当該ケアにおいて最終3回のケアの実施において不成功が1回もないこと。

【教科書】

使用しない。

【学修の準備】

実地研修にあたり、学内での自主的な演習等を通して手順の確認するなど、予習・復習にて研修に備えること(2時間)。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2. 福祉専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

DP1. 人間の生命および個人の尊重を基本とする高い倫理観と豊かな人間性を身につけている。

DP4. 保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につけている。

【その他】

この科目は、「認定特定行為業務従事者」として認定証の交付を受け、医行為実施の資格を得るための研修となる。

【実務経験】

看護師

(2026年度・看護福祉学部)

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関での実務経験を活かし、実践に即した教育を行う。